

PAS心理教育研究所 卒後研修センター 2021年度 プログラム



153-0041

東京都目黒区駒場2-8-9

Tel&FAX 03-6407-8201

Mail: pas@pas-ins.com

ホームページ : <https://www.pas-ins.com/>

PAS 心理教育研究所 プログラム概要

PAS 卒後研修センターでは、以下の訓練プログラムを提供しております。当センターでは毎月延べ400名に及ぶ専門家が自身の関心に応じて訓練を受けています。訓練期間や頻度、難易度など、多様な選択肢の中からご自分にあったプログラムをお選び頂けます。

1. プロフェッショナル・スクール(P. 4)

- (1) 心理療法課程 本科コース (毎週9 時間~/ 3 年~)
- (2) 心理療法課程 臨床科コース・専攻科コース (毎週7 時間~/ 2 年~)
- (3) 心理相談講座 (1 年~)
- (4) 心理相談入門講座 (1 年~)
- (5) Post-Doctoral 研修・研究コース (半年~)

※ 各コースは、条件を満たす科目は、臨床心理士資格認定協会研修ポイントの申請を行います。

2. 単発プログラム(P.7)

プロスクールに所属することなくご参加頂けるクラス・ワークショップです。月1回、週1回などルーティンで開催されるクラスや、年1回のワークショップなど、ご自身のご都合とニーズに沿ってお選びいただけます。いくつかのクラスを組み合わせることも可能です。

※ 各クラスは、条件を満たす科目は、臨床心理士資格認定協会研修ポイントの申請を行います。

- (1) プロフェッショナル・スクール セミオープンコース
- (2) 基礎科目：基礎理論と技法
- (3) 専門科目：専門技法
- (4) ワークショップ・集中演習 (「基礎から徹底して学ぶ専門技法」 他)

3. スーパーヴィジョン(P. 33)

個人・集団でのスーパーヴィジョンが受けられます。

4. 教育分析(P. 34)

心理療法家・カウンセラーの成熟性を旨とする、個人心理療法・集団精神療法です。

プログラム受講に関するコンサルテーション

ご自身に最適なプログラム・ワークショップを組み合わせることで、より体系的な学習・訓練を積むことが可能です。当センターでは、学びたいことや困っている事に依り、より最適な受講プランを練るためのコンサルテーションを提供しています (15 分・無料)。複数受講に限らず、1 クラスのご受講からでも、お気軽にご相談下さい。また、分割払いなど、お支払いに関するご相談もお受けいたします。

各コース・講座のお申込み

同封の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、PAS 心理教育研究所までFAX・郵送・受付での手渡し、メール、いずれかの方法によってご提出ください。お申込み頂きました後、受理通知をお送りいたします。申込書は、ホームページからもダウンロードできます。なお、お申込後1週間以内に返信がない場合、お手数ですが研究所までお電話下さい。

送り先：PAS心理教育研究所

〒153-0041 東京都目黒区駒場2-8-9

TEL & FAX 03-6407-8201

HP: <https://www.pas-ins.com> メール: pas@pas-ins.com

1. プロフェッショナル・スクール

数年単位の継続的な訓練を通して、PAS 心理療法・精神分析的な心理療法・集団精神療法の理論・技法を学び、確実に実践できる技術・態度を習得するための訓練プログラムです。当スクールの特徴は、講義に加えて少人数クラスでの徹底した演習によって、厳しくも充実した訓練を受けることができる点にあります。バラバラな継ぎ接ぎの学習ではなく、一貫した理論背景に基づく体系的訓練を希望している方に適しています。

【心理療法課程 (本科・臨床科・専攻科) の訓練の特色】

- ① PAS 心理教育研究所の臨床スタッフとして、実際の臨床活動に携わりながら訓練を進めます。ケースを持ち、スーパーヴィジョンを受け、臨床実践の体験から学ぶことができます。
- ② 自身の関心からプログラムを企画・運営し、技術・技法開発を進めることが可能です。また、倫理規定に則り研究活動を行なうこともできます。
- ③ 臨床スタッフ・訓練生が経験年数を問わず一同に会し、理論学習や実習を行います。熟練したセラピスト達と共に働き訓練することを通して、ファカルティ・レベルのセラピストの技術・態度を肌で体感しながら学ぶことができます。

(1) 心理療法課程 本科コース (3 年課程)

3 年間で、精神分析的個人心理療法の技法・事例研究法・精神分析的集団心理療法の基礎技法の習得を目指すコースです。米国のPsy.D. トレーニング・プログラムに準ずるレベルの訓練を提供します。

○ 訓練時間：毎週月曜19:00 - 21:00 理論講義

毎週金曜14:00 - 21:00 技法演習・臨床実践・スーパーヴィジョン

その他、別途定められた日程の集中研修プログラムへの参加や、PAS 心理教育研究所の開所時間内の臨床実践 (インテークや個人心理療法の担当、各種プログラムのセラピスト体験など)、単発プログラムへの参加など。

○ 授業料：年間792,000 円 (税込・分割払い可能)

* 本科生は、センターで開講されるほぼ全ての単発プログラムを無料で受講できます。

○ 修了後の進路：本科課程修了者には、修了証を発行致します。修了後は、臨床科・専攻科コースへの進学が認められます。

また、研究員としてPAS 心理教育研究所に所属し、引き続き臨床実践や研究に携わることが出来ます。

(2) 心理療法課程 臨床科・専攻科コース (2 年課程)

本科課程修了者がさらなる臨床訓練を積むコースです。詳細はお問い合わせください。

(3) 心理相談講座 (1 年 ~)

心理相談の理論と実践力を日々の仕事の中で磨いていくためのコースです。

月1回のゼミを拠点とし、受講生各自が、自分自身の心理相談の理論と技法の基礎を再構築し、練磨していくための科目を履修し、総合して3年間の研修コースを組立てます。1年間のみの履修も可能です。履修科目およびゼミのなかで、日々の心理相談の仕事の課題をもとに理論と技法の基礎課題を突き合わせ、実践力を向上させる技術や分析力の習得、発展、修正作業を重ねて、年間のコース目標を達成していきます。

- 講座長：小谷英文 講師：能幸夫 (科目担当)、中村有希 (科目担当)、髟香代子 (科目担当)
 - 訓練時間：適宜 (個々の研修計画による。主に、月1回 (原則第4 水曜 19:00 ~ 21:00) のゼミと履修科目)
 - 研修費：396,000 円 (税込・分割払い可能) ○ 訓練期間：1年ごとの在籍更新
 - 受講可能コース：必修科目および選択科目
- ※在籍年次によって異なります。詳細は別紙パンフレット及びP.7,8の表をご参照ください。
- 定員：20 名 ○ 申込み：申込書審査後、講座長による面接を経て受理。

(4) 心理相談入門講座

○講座長：花井俊紀 (ゼミ担当) 講師：小谷英文 (科目担当)、髟香代子 (科目担当)、中村有希 (科目担当)

○ 訓練時間：適宜 (個々の研修計画による。主に、月1回 (原則第4 土曜 13:00 ~ 15:00) のゼミと履修科目)

○ 研修費：264,000 円 (税込・分割払い可能) ○ 訓練期間：1年ごとの在籍更新

○ 受講可能コース：必修科目および選択科目

※今年度の履修科目については、別紙パンフレット及び P.7,8 の表をご参照ください。

○ 定員：25 名 ○ 申込み：申込書審査後、講座長による面接を経て受理。

※心理相談講座・心理相談入門講座の詳細は別紙パンフレットおよびホームページをご覧ください。

(5) Post-Doctral 研修・研究コース (半年 ~)

心理療法関連領域の学位 (博士) を有し、その領域において実践・研究の実績を積んだ者が、精神分析的システムズ心理療法の技法習得、あるいは特定の研究を遂行するためのコースです。本科および卒後研修センターで開講される科目を自由に選択履修し、指導ファカルティによるスーパーヴィジョンのもと年間研修計画もしくは研究目標を定めて、研修・研究を進めます。

○ 研修費：年間 792,000 円 (税込)

○ 期間：研修・研究目標の達成まで。1年ごとに在籍更新とする。遠方や海外居住などの事情により、半年単位の在籍も認める。

○ 半期の研修費：396,000 円 (税込)

○ 応募資格：

1. 心理療法関連領域の学位（文学博士、心理学博士、医学博士、教育学博士、Ph.D.、Psy.D. など）を有すること。
2. 心理療法関連の臨床実務経験を5年以上有すること。
3. 学術業績レフェリー付オリジナル論文を5点以上有すること。テキスト以外の専門単著は、レフェリー付きオリジナル論文3点とみなす。

2021 年度入学者選考日程

心理療法課程本科コース

(1) 書類選考：応募締切：2021/10/31

(2) 選考試験

①筆記試験 2021/11/6

②グループ体験（アイデンティティグループ参加） 2021/12/4-5

(3) 面接試験（審査）

より詳しい訓練内容や選考手順に関しては、募集要項をご覧ください。訓練内容など詳しくお知りになりたい場合は、お気軽に当センターまでお問い合わせ下さい。

2. 単発プログラム

※網掛け表示の科目はオンライン開講（○…対面+オンライン、●…オンラインのみ）
 ※状況に応じて、対面のみ及びオンラインのみに変更になる場合がございます。その場合、各講師より事前にアナウンスをいたします。

プロフェッショナル・スクール セミオープンコース					
NO.	必修・選択	講座名	講師	回数	開催曜日・時間
210-1-1	プロスクール	心理力動論Ⅰ	能幸夫	全8回	月 19:00-21:00
210-1-2	プロスクール	心理力動論Ⅱ	能幸夫	全8回	月 19:00-21:00
210-2	プロスクール	心理力動論特論	能幸夫	全8回	月 19:00-21:00
210-7~9	プロスクール	インテーク/初回/展開ケースフォーミュレーション	小谷英文	各10回	金(全学期)
210-10	プロスクール	実習・スーパーヴィジョン	小谷英文	10回	金(全学期)

特別科目：プロスクールおよび心理相談講座・入門講座の必修科目					
NO.	必修・選択	講座名	講師	回数	開催日
210-12-1	相談①	心理相談ゼミⅠ：自験例による	小谷英文	全10回	第4水 19:00-21:00
210-12-2	相談②	心理相談ゼミⅡ	小谷英文	全10回	第4水 19:00-21:00
210-13	入門①	カウンセリングゼミ	花井俊紀	全10回	第4土 13:00-15:00
210-14-1	相談②	事例演習Ⅰ(グループ・スーパーヴィジョン)	小谷英文	全10回	第1水 19:00-21:00

基礎科目					
NO.	必修・選択	講座名	講師	回数	開催日
211-1	必修：相談① 選択：入門	PAS不安力動原論	中村有希	全10回	第1水 19:00-21:00
211-2	必修：相談① 選択：入門、相談③	不安面接法	小谷英文	全10回	第2水 19:00-21:00
211-3	必修：相談① 選択：入門、相談③	メンタライゼーション	小谷英文	全10回	第3水 19:00-21:00
○211-4	必修：入門 選択：相談②	ガイダンスとカウンセリングの基礎	花井俊紀	全10回	第2月 19:00-21:00
○211-5	必修：入門 選択：相談②	臨床心理学の基礎	中村有希	全10回	第3月 19:00-21:00
211-6	必修：入門	事例演習基礎	花井俊紀	全10回	第4月 19:00-21:00
●211-7		PAS道場：カウンセリング・サイコセラピー	小谷英文	全10回	第1月 19:00-21:00
○211-8	必修：本科	対人援助職のための応答構成法	吉田愛・能幸夫	年6回	5/9, 7/4, 9/5, 11/7, 1/16, 2/6
211-9		臨床家アイデンティティ・グループ	髭香代子	年3回	6/5-6, 12/4-5, 3/5-6
211-10	選択：入門、相談①	不安グループ	髭香代子	全10回	第1月 19:00-20:45

専門科目					
NO.	必修・選択	講座名	講師	回数	開催日
212-1	必修:相談① ②③、選択:入門	ロールプレイ:インターク/ケースフォーミュレーション	小谷英文	全10回	第2木 19:00-21:00
212-2	必修:本科、選択:相談③	力動的アセスメント	能 幸夫	全10回	第1月19:00-21:00
212-3	必修:相談② ③、選択:相談①	介入分析法:面接展開/ケースフォーミュレーション	小谷英文	全10回	第4木 19:00-21:00
212-4	選択:相談② ③	心理職・対人援助職のためのグループ	髭 香代子	全10回	第2月19:00-21:00
212-5	必修:本科	フロイト文献講座	能 幸夫	全6回	5/17, 7/26, 9/27, 11/15, 1/17, 3/28
212-6		SET/レナー養成講座	中村有希	全10回	5/22, 6/26, 7/24, 9/25, 10/23, 11/27, 12/25, 1/29, 2/26, 3/26
212-7		SMGファミリテーター養成講座	花井俊紀	全6回+試験	5/16, 7/18, 10/3, 11/14, 12/5, 1/9

ワークショップ・集中演習					
NO.	必修・選択	講座名	講師	回数	開催日
213-1～4 基礎から徹底して学ぶ専門技法					
213-1-1		公認心理師、精神保健福祉士のための予診面接の組立と精神科医および多職種との連携からセルフケア面接	能 幸夫	年4回	6/13, 9/12, 12/12, 3/13
213-1-2		遊び上手になろう！:子どもの力を最大限に活かすプレイセラピー	中村有希	年4回	
●213-1-3		心理面接の始め方	花井俊紀	年4回	
213-1-4		アクティビティグループセラピー(活動療法)の始め方	花井俊紀	年4回	6/12, 9/11, 12/11, 3/12
213-2		PAS面接技法集中講座	小谷英文	年4回	6/27, 10/24, 1/30, 4/17
○213-3		対人援助職のため応答構成入門	能幸夫	年6回	5/9, 7/4, 9/5, 11/7, 1/16, 2/6
213-4		インターク面接入門	能幸夫・花井俊紀	年1回	7/25
213-5		力動的面接法基礎	中村有希	年2回	5/8, 11/13
213-6		ロジャースの6条件を成立させるための臨床的態度と面接技術ワークショップ	花井俊紀	年1回	10/3

看護プロフェッショナル					
NO.	必修・選択	講座名	講師	回数	開催日
○214-1		最新セルフケアプログラム～患者・家族・同僚のメンタルヘルスと看護介入技法～	宇佐美しおり	全10回	5/1, 7/3, 8/7, 11/13, 12/25, 1/29, 2/19, 3/26
○214-2		ハイリスク慢性疾患患者への最新セルフケアプログラムからPASセルフケアセラピー～ケア困難患者への看護介入技法～	宇佐美しおり	全10回	5/1, 7/3, 8/7, 11/13, 12/25, 1/29, 2/19, 3/26
●214-3		PAS道場: PAS-SCT	小谷英文	全10回	5/17, 6/21, 8/16, 10/18, 11/15, 11/29, 12/20, 1/17, 2/21, 4/18
214-4		集中PAS-SCT専門技法講座	小谷英文	全4回	6/12-13, 9/25-26, 12/11-12, 3/12-13

特別科目－プロフェッショナル・スクール セミオープン講座

科目名： 210-1 心理力動論の基礎Ⅰ

講師：能 幸夫 取得単位：0.8 単位

目標：Freud, S. の精神分析から精神分析的な心理療法への展開において、その基軸となった理論が心理力動論である。本講座は一年をかけて心理力動論の基礎を学ぶにあたっての総論として位置づけられる。Freud の心的装置の展開について概観しながら、精神分析におけるメタサイコロジーの基本概念を押えていく。その上で、Freud の心的装置第一位相の外傷－情動モデルにおける防衛と心的外傷の力動について学ぶ。

内容：

テキストおよびサブテキストを事前に読み、それに基づいて理論講義に積極的に参加し、ディスカッションを行い、理論概念の理解を確かなものにする。

1. 精神分析から精神分析的な心理療法への展開の理解
2. PAS 心理療法と心理力動論
3. 精神分析の基礎仮説とメタサイコロジー
4. Freud の心的装置の展開
5. 表現と防衛の心理力動
6. 心的外傷の心理力動

テキスト：

小谷英文著『精神分析的システムズ心理療法－人は変わる－』

サブテキストとして、能幸夫編『心理力動論の基礎』も用いる（配布予定）

対象：プロフェッショナル・スクール在籍生。他、現任の心理職、精神科医、心理職を目指す大学院生で受講を認められたもの。

日程：5～8月 第2～4月曜 19:00-21:00 全8回（Ⅰ～Ⅲ 全24回中）

5/10, 5/24, 5/31, 6/14, 6/21, 6/28, 7/12, 7/19（5/17, 7/26は別途、必修専門科目）

料金：70,400円（税込） **定員：**本科生を除き7名

科目名： 210-1-2 心理力動論の基礎Ⅱ

講師：能 幸夫 取得単位：0.8 単位

目標：心理力動論の基礎Ⅱでは、Freud の心的装置の第二位相局所論モデルに従って、意識、前意識、無意識における力動を学ぶ。さらに、Freud の心的装置第三位相の構造論モデルにおける自我、イド、超自我の構造論的観点の各エージェンシー間の力動を学んでいく。そして、これらの観点の概念定位を確かにする。その上で、現代的な Kernberg の正常な人格構造と PAS 心理療法の人格構造図式と個人内欲動エネルギー展開図式の理解を深める。

内容：

テキストおよびサブテキストを事前に読み、それに基づいて理論講義に積極的に参加し、ディスカッションを行い、理論概念の理解を確かなものにする。

1. 意識、前意識、無意識の機能

2. 抵抗と転移の力動論
3. 自我、イド、超自我とその機能
4. 生の欲動と死の欲動およびその力動
5. Kernberg の正常な人格構造
6. PAS 心理療法の人格構造図式と個人内欲動エネルギー展開図式

テキスト：

小谷英文著『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』

サブテキストとして、能幸夫編『心理力動論の基礎』も用いる（配布予定）

対象：プロフェッショナル・スクール在籍生。他、現任の心理職、精神科医、心理職を目指す大学院生で受講を認められたもの。

日程：9月～12月 第2～4月曜 19:00-21:00 全8回（Ⅰ～Ⅲ 全24回中）

9/13, 10/18, 10/25, 11/08, 11/22, 11/29, 12/13, 12/20

（9/27,11/15 は別途、必修専門科目）

料金：70,400 円（税込） **定員：**本科生を除き 7 名

科目名： 210-2 心理力動論特論:エディプス力動論

講師：能 幸夫 取得単位：0.8 単位

目標：『心理力動論の基礎』の特別講義。Freud の神経症論の中核葛藤としてのエディプス力動について、その概念定義と普遍性について理解する。また、エディプスコンプレクスの発見の過程としての Freud の自己分析のプロセスと、エディプス力動を扱うエディプス面接法について学ぶ。

内容：

テキストおよびサブテキストを事前に読み、それに基づいて理論講義に積極的に参加し、ディスカッションを行い、理論概念の理解を確かなものにする。

1. エディプスコンプレクスとエディプス力動
2. エディプスコンプレクスの普遍性と病理性
3. Freud の自己分析
4. エディプス面接法①
5. エディプス面接法②
6. エディプスコンプレクスの諸相

テキスト：小谷英文著『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』

サブテキストとして、能幸夫編『心理力動論の基礎』も用いる（配布予定）

対象：プロフェッショナル・スクール在籍生。他、現任の心理職、精神科医、心理職を目指す大学院生で受講を認められたもの

日程：12～4月 第2～4月曜 19:00-21:00 全8回（Ⅰ～Ⅲ全24回中）

12/27, 1/24, 1/31, 2/14, 2/21, 2/28, 3/14, 4/11

（1/17, 3/28 は別途、必修専門科目）

料金：70,400 円（税込） **定員：**本科生を除き 7 名

科目名：210-7 インテーク・ケースフォーミュレーションⅠⅡⅢ

(ⅠⅡⅢは、1年次、2年次、3年次の意)

講師：小谷英文 取得単位：1単位

目標：インテーク手続きと面接技術を、ロールプレイと成果のフォーミュレーションの演習によって身につける。これを基礎に年間研修を個々に組み立てられるようにするのが目的である。

内容：

1. インテークでやらなければならないことの理論の習得
2. インテークの実践面接技術の習得
3. インテークによるケースフォーミュレーション法の習得
4. ロールプレイ法の習得

対象：本科生、臨床科生、専攻科生、ポストドクトラルコース研修生

日程：1学期 金曜日 14:00-16:00

科目名：210-8-1-2-3 初回・ケースフォーミュレーションⅠⅡⅢ

講師：小谷英文 取得単位：1単位

目標：サイコセラピイの初回面接技法演習とそのフォーミュレーションによって、サイコセラピイ展開の基礎を身につける。

内容：

1. 初回面接でやらなければならないことの習得；
相互作用メンタルメトリックスの覚醒
メンタライジング
構成の仕事
フィードバックサイクルの起動
ワーキングアライアンスの起動
2. ベイスラインケースフォーミュレーションの再構成の始め方；
試行面接5回で完成させる

対象：本科生、臨床科生、専攻科生、ポストドクトラルコース研修生

日程：2学期 金曜日 14:00-16:00

科目名：210-9-1-2-3 展開・ケースフォーミュレーションⅠⅡⅢ

講師：小谷英文 取得単位：1単位

目標：サイコセラピイ面接の展開ノードルポイントの捉えと、そのキンドリング技法を学び、PAS サイコセラピイのPAS 量子力学介入、展開の基礎を学ぶ。

内容：

1. キンドリング技術の習得
2. 作業同盟から治療同盟への展開技法
3. 構成の仕事から再構成の仕事への展開技法

4. 修正フォーミュレーションの構成

対象：本科生、臨床科生、専攻科生、ポストドクトラルコース研修生

日程：3 学期 金曜日 14:00-16:00

科目名：210-10-1-2-3 実習・スーパーヴィジョンⅠⅡⅢ

講師：小谷英文 取得単位：1 単位

目標：自身および同僚の実習スーパーヴィジョンに参加し、スーパーヴィジョンの受け方、ケースのインシデントフォーミュレーションの実践指導を受ける。

内容：スーパーヴィジョン 体験実習：自験例および同僚の事例からも学ぶ。

対象：本科生、臨床科生、専攻科生、ポストドクトラルコース研修生

日程：全学期 金曜日 16:00-18:00 19:00-21:00

科目名：210-12-1-2-3 心理相談ゼミⅠⅡⅢ：自験例による（必修：相談①②③）

講師：小谷英文 取得単位：1 単位

目標：心理相談講座の学びがカウンセリング実践にどう生かされているか、また自分自身のカウンセリングが実際にどのように組み立てられどのように体験されているかを具体的に掴む。

内容：

自験例のスーパーヴィジョンを受け、また同僚のスーパーヴィジョンにも参加し、実践例によって上記目的を追求する。その過程で以下のことを学ぶ。

1. スーパーヴィジョンの受け方
2. カウンセリングの基礎技法の習得
3. ケースフォーミュレーションの実際

対象：心理相談講座の受講生

日程：第4水曜日 19:00-21:00 全10回

5/26, 6/23, 7/28, 9/22, 10/27, 11/24, 12/22, 1/26, 3/23, 4/27

科目名：210-13 カウンセリングゼミ（必修：入門）

講師：花井俊紀 取得単位：1 単位

目標：カウンセリング・ガイダンスの実践に必要な1) 臨床的態度、2) 心理面接の手順、及び、3) 基本面接技術を身につけること。心理相談入門講座の必修科目で学んだ理論を、実践につなぎ、着実に心理面接を実施できるようになることが目標である。

内容：

ゼミは、1) 現在の学びに関するシェアと質疑応答(30分)、2) ロールプレイによる面接練習(90分)、で構成される。1) では、入門講座全体の学びについて話することができる。2) では、以下について、それぞれの課題を明確にし、1つずつできるようになるまで練習・演習を重ねる。

1. PAS10 ルールと臨床的態度
2. 心理面接の目的と手順の流れ

3. セラピーによるパーソナリティ変化の必要にして十分な条件 (Rogers)
4. 面接技術：記述の技術
5. Clinical Facts (臨床事実) の取り出し
6. 認知・情動 (感情)・行動の識別
7. ケースフォーミュレーション
8. 7に基づいた支援方法の構成

対象：心理相談入門講座の受講生

日程：第4土曜日 13:00-15:00 全10回

5/22, 6/26, 9/25, 10/23, 11/27, 12/25, 1/22, 2/26, 3/26, 4/23

科目名：210-14-1 事例演習 I (必修：相談②)

講師：小谷英文 **取得単位：**1単位

目標：実践事例の事例分析に基づきケースフォーミュレーションを書けるようになり、効果的なスーパーヴィジョンを受けることができるようになることを目標とし、学会等で発表することができる事例報告を1年間で完成させる。

内容：

カウンセリング／サイコセラピーのグループ・スーパーヴィジョンを通じて上記目標を達成する。

対象：心理相談講座2年次生

日程：第1水曜日 19:00～21:00 全10回

6/2, 7/7, 8/4, 9/1, 10/6, 12/1, 1/5, 2/2, 3/2, 4/6

基礎科目

科目名：211-1 PAS 不安力動原論（必修：相談① 選択：入門）

講師：中村有希 取得単位：1 単位

目標：現代の多くの臨床処方が不安を遠ざけている。不安を正面から取り上げ治療課題としたのがフロイトであったが、精神分析が医療の表舞台から退いた今日、実際には心理療法やカウンセリング、そのほか全ての心理相談で対峙する表玄関ともいえる不安を理解する術が失われている。フロイトの心の理解を基軸とする PAS 理論においては、不安は最も重要な変数と見なされている。この不安力動を理解することが本コースの目標である。

内容：

1. 心の働き：構造論、欲動展開理論
2. PEA 理論
3. 驚愕反応
4. ピニー症候発達理論
5. 現実不安と神経症不安

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、CNS、心理職を目指す大学院生

日程：第1水曜日 19:00-21:00 全10回

6/2, 7/7, 8/4, 9/1, 10/6, 12/1, 1/5, 2/2, 3/2, 4/6

料金：88,000 円（税込） **定員：**30 名

科目名：211-2 不安面接法（必修：相談① 選択：入門、相談③）

講師：小谷英文 取得単位：1 単位

目標：全ての心理相談の意味ある展開の始まりは、不安のとらえにかかっている。実際の面接展開において、不安をどのようにキャッチしそこからの作業展開を起こせるか、実践的な面接技術の習得を目標とする。

内容：ロールプレイによる演習

1. 面接 DER 技法
2. 不安の波と粒のとらえ
3. 不安のフィードバック起動
4. 現実不安と神経症不安の区別
5. 不安相談

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、CNS、心理職を目指す大学院生

日程：第2水曜日 19:00-21:00 全10回

5/12, 6/9, 7/14, 9/8, 10/13, 11/10, 12/8, 1/12, 2/9, 3/9

料金：88,000 円（税込） **定員：**30 名

科目名：211-3 メンタライゼーション（必修：相談① 選択：入門、相談③）

講師：小谷英文 取得単位：1単位

目標：相互作用メトリックス展開の中、自他の区別を明瞭に保持し相手の心理学的プロセスを捉えて、同時に自身のプロセスも捉え言語化できる能力を練磨する。

内容：講義と演習

1. メンタライゼーションの力動
2. メンタライゼーションの発達と防衛
3. ジェヌイネス
4. 面接過程における自己プロセスと共感
5. メンタライゼーション展開の面接法

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、CNS、心理職を目指す大学院生

日程：第3水曜日 19:00-21:00 全10回

5/19, 6/16, 7/21, 9/15, 10/20, 11/17, 12/15, 1/19, 2/16, 3/16

料金：88,000円（税込） 定員：30名

科目名：211-4 ガイダンスとカウンセリングの基礎*オンライン対応

（必修：入門 選択：相談②）

講師：花井俊紀 取得単位：1単位

目標：ガイダンスおよびカウンセリング心理学の系譜と現代の位置付けを理解し、実践技法を学ぶ基礎となる理論を身につけることを目標とする。

内容：講義と演習

1. ガイダンスとカウンセリング心理学
2. カウンセリング心理学と臨床心理学
3. ガイダンスの理論と技法
4. カウンセリングの理論と技法
5. カウンセリングと心理療法

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、CNS、心理職を目指す大学院生

日程：第2月曜日 19:00-21:00 全10回

5/10, 6/14, 7/12, 8/16, 9/13, 11/8, 12/13, 2/14, 3/14, 4/11

料金：88,000円（税込） 定員：30名

科目名：211-5 臨床心理学の基礎（必修：入門 選択：相談②）*オンライン対応

講師：中村有希 取得単位：1単位

目標：心理療法が成立するに至った臨床心理学の系譜を学び、心理療法成立の過程から心理療法を学ぶ上で欠かせない基礎概念と理論を学ぶことを目標とする。

内容：講義と演習

1. フロイト以前
2. フロイト以降

3. 人間性回復運動
4. 心理療法黄金時代
5. 現代の臨床心理学

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、CNS、心理職を目指す大学院生

日程：第3月曜日 19:00-21:00 全10回

5/17, 6/21, 7/19, 10/18, 11/15, 11/29, 12/20, 1/17, 2/21, 4/18

料金：88,000円(税込) **定員：**30名

科目名：211-6 事例演習基礎（必修：入門）

講師：花井俊紀 **取得単位：**1単位

目標：今や世界のAI時代への展開によってデータ主導の展開が強くなってきているが、臨床心理学による心理相談は、本来危機状況の「人」と向かい合っていく1対1で床に待るすなわち臨床の学であった。1対1で徹底して相手を理解するというのが臨床心理学の事例という意味である。個々一人一人のひとと、臨床家や相談者が向かい合うことができるのか、事例理解とはどういうことなのかを理解することを目標とする。

内容：講義と演習

心理相談事例をどのように理解できるか、事例資料とケースフォーミュレーションをもとに毎回相互の理解を紐解いていく。事例となっている多くの人に会う演習である。

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、CNS、心理職を目指す大学院生

日程：第4月曜日 19:00-21:00 全10回

5/24, 6/28, 7/26, 9/27, 10/25, 11/22, 1/24, 2/28, 3/28, 4/25

料金：88,000円(税込) **定員：**30名

科目名：211-7 PAS カウンセリング／サイコセラピー道場*オンラインのみ

講師：小谷英文 **無単位**

目標：精神分析的システムズ理論によるカウンセリング／サイコセラピーの技法及び事例研究のシェイプアップ。

内容：

実践ケース展開における行き詰まりを分析し、その展開技法を具体的に見出すために、ケース・フォーミュレーションに基づく行き詰まりインシデントの分析と技法展開の練習を行う。武道における道場のように、自分自身の理論運用と実践技法の錬磨を行う。

対象：カウンセリング及び心理療法の実践をしている医師、臨床心理士、公認心理士、精神看護CNS、職種、実践歴は問わない。ノーヴィスからマスターセラピストまで（初心者からヴェテラン）。

日程：第1月曜日 19:00～21:00 全10回

6/7, 7/5, 8/2, 9/6, 10/4, 11/1, 12/6, 2/7, 3/7, 4/4

料金：88,000円(税込) **定員：**15名

科目名： 211-8 対人援助職のための応答構成法（必修：本科）*オンライン対応

講師：吉田 愛・能 幸夫 取得単位：1単位

目標：面接場面でどのようにクライアントに反応し、応えているのか、自分の特徴をつかむこと。また、自分の応答のバリエーションを増やし、精練していくこと。

内容：

応答構成とは、架空の事例のある心理療法場面（抜粋）を読み、自分であればどのように応えるか、実際に応答を作ってみるグループワークセッションである。クライアントの具体的な発言に対して、ワークシートを使いながら、自分とクライアントの「考えと認知」、「気持ちや感情」、「行動」を識別し、自分らしくクライアントに応答できるようになることを目指す。（※このプログラムには事前課題があります）

1. 思春期女子と中年期男性の心理療法の16の面接場面において、応答をつくる。
2. 自分の「考えと認知」「気持ちや感情」「行動」（実際の応答）を振り返り、自分の特徴をつかむ。
3. メンバーや講師のコメントや応答を活かし、自分の応答を精練する。
4. 最終回には、16抜粋の応答をマニュアルに沿って分析し、対人援助職の自分としての特徴を総括する。

対象：心理職に従事している方および心理職を目指す大学院生。現在心理療法を行っていない方でも、関心のある方は参加可能（事前にご相談ください）。

日程：第1もしくは第2日曜 9:30-17:15 全6回

5/9, 7/4, 9/5, 11/7, 1/16, 2/6

料金：88,000円（税込） **定員：**5名内外

科目名： 211-9 臨床家アイデンティティ・グループ

講師：髭香代子 取得単位：無し

目標：臨床家としての自分のアイデンティティを探求すること。

内容：

わたしはこういう臨床家だ、と胸を張って名乗れるだろうか。対人援助の臨床現場に立ち続けるということは、いつでも危機状況に立ち会い、対応できる態勢でいるということのはずだが、わたしたちはどれだけその責任を果たしているだろうか。

危機状況とは、何もとくべつなものではない。1回の面接の中でも、わたしたちは大なり小なり危機状況に直面する。言葉に詰まるとき、臨床家ではなく個人としての感情が自分を覆いつくしてしまうとき、自分や相手を見失うとき。小さな危機はいくらでもある。それらを認識し、自分にできることを最大限できるようになるためには、技術の研鑽は言うに及ばず、自らの臨床家としてのアイデンティティをたしかなものにしておくことが大きな助けになる。どんなクライアントにも、どんな危機状況にも万能に対応できる必要はないが、自分に何ができるのか、自分が何をできる臨床家でありたいのか、つかんでおく必要はある。

臨床家としてのアイデンティティを問い直し、探求し続けるためのグループである。

対象：臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、ソーシャルワーカーなど、対人援助の臨床家（初心者からベテランまで）。

日程：第1回 6/5-6 第2回 12/4-5 第3回 3/5-6

土曜 9:50-17:00 日曜 10:00-13:40

料金：1回参加 33,000円(税込) 3回パック 88,000円(税込) 定員：5名内外

科目名：211-10 不安グループ(選択：入門、相談①)

講師：髭 香代子 取得単位：1単位

目標：自分の不安と向き合い、対処できるようになること。

内容：

日常の中で、わたしたちはさまざまな場面、状況において不安を感じる。いちど不安になってしまうと、それにとらわれてしまったり、何もうまくいかないというイメージしか持てなくなったりすることがないだろうか。しかし不安には、自分の心と身体からのサインとして、豊かなメッセージがこめられている。

この不安グループは、自分の不安はどこから起きるのか、なぜ起きるのか、自分にとってどういう意味があるのかを理解し、怖がらずに対処できるようになるためのグループである。また、日々出会うクライアントの不安にも向き合えるようになるための、不安とその対処をメインテーマにした集団精神療法である。45分のセッションを、休憩をはさんで2回行う。

対象：心理職・対人援助職・それらを目指す人(初心者からベテランまで)

日程：第1月曜日 19:00-20:45 全10回

6/7, 7/5, 8/2, 9/6, 10/4, 11/1, 12/6, 2/7, 3/7, 4/4

料金：通年 60,500円(税込) 各回参加 5,500円(税込) 定員：7名

専門科目

科目名：212-1 ロールプレイ：インテーク／ケースフォーミュレーション

(必修：相談①②③、選択：入門)

講師：小谷英文 取得単位：1単位

目標：力動的ロールプレイ法を学び、ロールプレイによりメンタライズの基礎、面接技術、フォーミュレーションベイスト面接法、PAS 量子力学面接法を身につける。

内容：

ロールプレイ法は、力動的面接法の基本の基となるメンタライジングを学ぶ上で欠かせない訓練法である。実践的な体験をもって、理論を学び直し、自らの面接技術を再編し、面接法における現在の課題と身につけるべき技術を特定化し精錬する。以下の訓練内容を積み上げていく。

1. ロールプレイによるインシデント分析
2. 力動的面接基礎技術；相互作用メンタルメトリックス覚醒、メンタライジング、フィードバックサイクル、粒と波
3. ケースフォーミュレーションの基本；構成の仕事

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、CNS、心理職を目指す大学院生

日程：第2木曜日 19:00-21:00 全10回

5/13, 6/10, 7/8, 9/9, 10/14, 11/11, 12/9, 1/13, 2/10, 3/10

料金：88,000円(税込) **定員：**20名

科目名：212-2 力動的アセスメント(必修：本科、選択：相談③)

講師：能 幸夫 取得単位：1単位

目標：力動的アセスメントは、精神科医による診断とは目的が異なる。精神医学診断は病気か否か、病気であるならその種類の特定化にある。心理療法におけるアセスメントは、心理療法の目的を達成するために当事者の持つ能力を評価することに狙いがある。したがって、力動、すなわち人格機能の能力を同定するものであり、機能は常に動いているものであるから、力動的機能の評価し、それを根拠とした力動診断につなぐものでなければならない。本コースは、この力動的アセスメントを実践体験的に学び、基本的な手続きを身につけることを目標とする。

内容：

面接展開の中でアセスメントすることをセラグノーシスと言う。PAS 特有の面接技法展開においてメンタライジング面接法、キンドリング法を用いてアセスメントを進める実習であり、ロールプレイ法を用いて行う。

1. PAS-PDSE：PAS-心理力動状態査定 の使い方
2. セラグノーシスの手順
3. クライエントの人格構造機能水準のアセスメント
4. パーソナリティスタイルのアセスメント
5. 発達課題のアセスメント
6. 葛藤に関わる防衛と適応機制のアセスメント

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、CNS、心理職を目指す大学院生

日程：第1月曜日 19:00-21:00 全10回

6/7, 7/5, 8/2, 9/6, 10/4, 11/1, 12/6, 2/7, 3/7, 4/4

料金：88,000円(税込) **定員：**本科生を除き7名まで

科目名：212-3 介入分析法：面接展開／ケースフォーミュレーション

(必修：相談②③、選択：相談①)

講師：小谷英文 取得単位：1単位

目標：介入とは宝を掘り出すか、種を蒔き実らせるためにまるで畑を耕すように、対象に関わることである。介入によって対象の見えない世界が見えるように、本当に美しいものを見えるようにすることである。このことが実現できる介入とはどのようなものか、実践トレーニングによって身につけることを目標とする。

内容：

過去、現在、未来に時間変数は無用とする量子力学的空間、即ちセラピストが介入することによって展開する時々刻々に変化するクライエントーセラピスト関係における介入面接展開と分析法を学ぶ。

1. ロールプレイ法による介入技術の習得

一拍子打ち

フィードバック

セラグノーシス

2. 介入と同時の分析展開法の習得

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、CNS、心理職を目指す大学院生

日程：第4木曜日 19:00-21:00 全10回

5/27, 6/24, 7/29, 9/30, 10/28, 11/25, 12/23, 1/27, 2/24, 3/24

料金：88,000円(税込) **定員：**20名

科目名：212-4 心理職・対人援助職のグループ(選択：相談②③)

講師：髭 香代子 取得単位：1単位

目標：グループで自由連想できるようになること、自分を表現できるようになること。

内容：

心理職だから対人・集団場面でも緊張してはいけない、対人援助職だからうまく話せるはず、というとらわれから自由になって、人前でも気楽に自分の心と付き合い、人とも向き合えるようになるためのグループ。まずはグループの中で自由連想できるようになること、さらには自分を自由に表現できるようになることを目標に、45分の集団精神療法セッションを、休憩をはさんで2回行う。

対象：心理職・対人援助職・それらを目指す人(初心者からベテランまで)

日程：第2月曜 19:00-21:00 全10回

5/10, 6/14, 7/12, 8/16, 9/13, 11/8, 12/13, 2/14, 3/9, 4/11

料金：通年 55,000円(税込) 各回参加 5,500円(税込) **定員：**7名

科目名：212-5 フロイト文献講読講座（必修：本科）

講師：能 幸夫 取得単位：0.6 単位

目標：フロイト文献講読講座第VI期は、PAS 本科の理論コースの一部をセミ・オープンとして開講する。読んでいく文献は、Freud の心的装置の第一位相外傷－情動モデルから、第二位相局所論モデル、第三位相構造論モデルの展開に従って、それぞれの位相に関連して、今までに読んでこなかった文献をあげた。Freud の 50 年にわたる思索の跡が辿れる構成である。

内容：

1. 6 回の各回に以下の諸論文を読み込んでいく。
 01. 防衛－神経精神症（1894）・防衛－神経精神症再論（1896）
 02. ヒステリーの病因論のために（1896）
 03. 精神分析治療に際して医師が注意することども（1912）・治療の開始のために（1913）
 04. 想起、反復、反芻処理（1914）・転移性恋愛についての見解（1915）
 05. 分析における構築（1937）・終わりのある分析と終わりのない分析（1937）
 06. モーセという男と一神教（1939）
2. あらかじめ配布された諸論文を事前に読み、各論文ごとに面白いと思った箇所を 3 か所用意する。
3. 仲間と積極的にディスカッションし、文献の理解を深める。

対象：初心から中堅、もしくはベテランの臨床家およびフロイトに直接関心のある人（必ずしも臨床家に限らずフロイトに関心のある人も可）

日程：奇数月 第 3 月曜日 19:00-21:00 全 6 回

5/17, 7/26, 9/27, 11/15, 1/17, 3/28

料金：52,800 円（税込） **定員：**本科生以外 7 名まで

科目名：212-6 SET トレーナー養成講座（ベーシックコース）

講師：中村有希 取得単位：1 単位

- 目標：**
- 1) 基礎コースで学んだ SET の基本技法と基本介入技術の熟達
 - 2) 訓練プログラムを自ら構成できるようになる
 - 3) メンバーのアセスメントに基づいて訓練を進行できるようになる

内容：

話をしない、面接で動機が語れない人々が増えている。大きなトラウマを負ったために、その出来事を口にできない、日常場面でも、子供や青年、大人でさえ声を発することなく沈黙し、自分の内に引きこもる人々がいる。そのような人々には、まず言葉で表現することそのものの安全感、楽しさや喜びを体験することが必要である。頭で考えて言葉にするのではなく、語ることそのものが面白いと体験できるよう、精神分析的な心理療法を理論基盤として組み立てられた心理教育手法が Socio-Energetic Training (SET) である。本講座は抑うつ状態とその予防、PTSD 予防、あるいは人間の創造性開発に向けて、自我を鍛え、育てる心理教育プログラム SET のトレーナーを目指す。

第 1 / 2 講 SET の定義と基底理論

- 第3講 SETの技法構造
- 第4講 ロールプレイ技法
- 第5講 スクリプトジョイニング技法
- 第6講 スクリプトリバイジング技法
- 第7講 スクリプトメイキング技法
- 第8講 総合演習1
- 第9講 総合演習2
- 第10講 試験（筆記および実技 90分）

対象：臨床心理士、公認心理師、スクールカウンセラー、教師、ソーシャルワーカー、精神保健福祉士、医師、看護師などの対人援助職の方々。その他、企業人をはじめ心理教育的なワークショップの実践に関心のあるの方々。

日程：第4土曜 13:00-15:00 全10回

5/22, 6/26, 7/24, 9/25, 10/23, 11/27, 12/25, 1/29, 2/26, 3/26（試験）

料金：88,000円（税込） **定員：**6名

科目名：212-7 SMG ファシリテーター養成講座

講師：花井俊紀 取得単位：1単位

目標：Story Making Group (SMG) を、ファシリテーターとして心理教育を目的に実施するための理論・態度・技術を学ぶ。（本講座で、SMG 体験終了認定と SMG ファシリテーター認定に必要な単位を取得できる。単位取得後、試験に合格することで SMG ファシリテーター資格を取得することができる。）

内容：講座形式：初回：SMG 体験（2時間×3）

Story Making Group (SMG) とは：

SMG は、PAS 心理教育研究所で開発された小集団精神療法技法である。グループで一つの物語を作るという活動とその体験の振り返りにより、自我の活性化、自己の安定化、心理学的心性の活性化を可能にする技法である。災害等のトラウマ予防・困難患者の心理療法準備・子どもや青年の心理教育や活動療法、精神科デイケアの活動、心を育てる学級活動、チームワークを育てる企業研修、などに役立てることが可能である。

SMG は受ける人の安全のため、所定のトレーニングを受け、資格を取得した者が実施することができる。以下の順に資格取得が可能である。

- 1：SMG ファシリテーター：SMG を心理教育的に実施することができる。
- 2：SMG コ・リーダー：SMG を臨床的に他の SMG セラピストと共同で実施することができる。
- 3：SMG リーダー・トレーナー：SMG を一人で臨床的に実施でき、また SMG 実施者のトレーニングを行なうことができる。

2回目以降、SMG 体験（2時間）＋理論講義（2時間）＋技術演習（2時間）を5回

- ・SMG 体験入門（初回）：1セッション90分の SMG セッションを3回体験し、SMG の枠組みに入り、参加できるようになる。
- ・SMG 体験：1セッション90分の SMG セッションを5回体験し、SMG の装置を使えるよう

になる。

- ・理論講義：SMG を実施するのに必要な基本理論・概念の理解（心理教育・心理学的心性・個人の発達と集団の意味・自我機能と自己の理論）
- ・技術演習：SMG 実施手順の習得（マニュアルの実施）

対象：学校教育・学生相談・精神医療・デイケア・福祉・療育・企業研修などの分野で働く人。
特に、日常の業務で使うことのできる、具体的な技術を身に着けたい方。

日程：日曜 10:00-17:00 全6回+試験

5/16, 7/18, 8/8, 11/14, 12/5, 1/9 試験日：2022/2/20

料金：123,200 円（税込） **定員：**5 名 **開催人数：**3 名以上受講生が集まった場合開講。

ワークショップ・集中演習

「基礎から徹底して学ぶ専門技法」

科目名：213-1-1 公認心理師、精神保健福祉士のための予診面接の組み立てと精神科医
および他職種との連携からセルフケア面接へ

講師：能幸夫

目標：予診面接とは、機関によってはアナムネーゼともいわれ、精神医療分野では、精神科医の診察に先立つ受け付けの面接を指す。病院やクリニックでは、精神保健福祉士や公認心理師が予診面接を担当することが多い。予診面接は、患者さんや家族が初めてその機関と出会う面接でもあり、その面接を単なる情報集のための聴取としないで、意味ある面接にしていくことは、治療の第一歩としてとても重要である。本講座は、この予診面接の組み立てを起点に、精神科医および他職種との連携およびセルフケア面接の組み立てを学んでいく。

内容：

1. 予診面接と医師との連携：心理学的心性の機能図式とファースト・コンタクト技法
2. 危機介入と他職種との連携：集団・組織の危機力学と『介入－判断－処置』の技法
3. インテーク面接の組み立て方；主訴の聴取とアセスメント
4. セルフケアプログラムの組み立て：ケアプランとその実行プロセス

テキスト：小谷英文編著・宇佐美しおり共著『PAS セルフケアセラピー』

対象：初心から中堅の公認心理師、臨床心理士、精神保健福祉士、精神科・心療内科看護師、ソーシャルワーカー、作業療法士など。現在医療機関に所属していなくても将来的に関心がある上記専門職の方。

日程：全4回 6/13, 9/12, 12/12, 3/13（日曜日開催） 時間：9:30-16:30

料金：4回パック申込 59,500円（税込） 各回 16,500円（税込） 各回申込可

*パック申込の場合2割引になります *分割支払い可

定員：6名

「基礎から徹底して学ぶ専門技法」

科目名：213-1-2 遊び上手になろう！：子どもの力を最大限に活かすプレイセラピー

講師：中村有希

- 目標：**
- 1) 子どもも大人も遊ぶ能力が身につける。
 - 2) 子どもと遊びながら関わるのが楽しくなる。
 - 3) 子どもの心がどのように育つのかわかる。

内容：

子どもたちは本来、とても遊び上手である。遊びを通して子どもは、社会性や気持ちの表現、現実との向き合い方、人と親しくなることや創造性を身につけていく。もし、子どもが遊び下手になっていると感じたら、大人の私たちが遊び上手になって、遊ぶ喜びを伝えよう。様々な不安や傷つきを抱えている子どもたちも、遊びの中でその痛みを克服することができる。「し

つけ」や「指導」は遊びを通してできること、遊びの中で子どもたちが自信と責任を身に付けていくことができるものである。親御さんから専門家まで、子どもと関わる方なら誰でも参加可能。楽しく学ぶ1日研修です。

第1回：「未就学児と遊ぶ：3歳まで」

第2回：「幼稚園児と遊ぶ：4歳～6歳」

第3回：「小学生と遊ぶ」

第4回：「思春期の遊び」

対象：子育て、教育、カウンセリングに関心のある専門家から一般の方々まで、ご参加いただけます（20歳以上の方）。

日時：全4回 6/13, 9/12, 12/12, 3/13（日曜日開催） 時間：10:00-15:00

料金：各回 8,800円（税込） **定員：**10名

「基礎から徹底して学ぶ専門技法」

科目名：213-1-3 心理面接の始め方*オンラインのみ

講師：花井俊紀

目標：心理面接には、理論があり手順があり必要な態度と技術がある。傾聴・共感と言ってやみくもに質問し、話をさせて、不必要に気持ちを刺激することは、相談者の心を乱すことであり避けなければならない。何を目的にどのような話を進めるのか、相談者の心の安全を守りながら何らかの成果を生み出すために必要な心理面接の手順を一から学び、覚えることが本講座の目標である。

- 1) 心理面接の目的を学ぶ。
- 2) 心理面接の始めから終わりまでの手順を学ぶ。
- 3) 相談者の現実的な問題への支援方法を学ぶ。

内容：

開講形式：テレビ会議システムを利用したオンラインクラス。講義を中心に、ロールプレイなどでの体験を交える。

大学院卒業後、または公認心理師・臨床心理士資格取得後、初めて心理職（心理関連職・対人支援職）として働き始めた初心者が、職場で何をするのか、心理面接として何をするのか、を簡単な基礎から学び、それぞれの職場において心理面接が実施できるようになることを目指す。

第1回：専門家として心理職・援助職を始める・心理面接の目的と目標

- ・心理面接の始め方1：自分の仕事は何か？（職責・求められていること）
- ・心理面接の始め方2：心理面接の目的と臨床的態度（Clinical Attitude）

第2回：ファーストコンタクト

- ・心理面接の始め方3：相談申込受付、会うための準備、面接者が相談者と出会う（サイコロジカルコンタクト）。
- ・心理面接の始め方4：相談者を相談の場に迎える（グラウンドメイトリックスによる迎え）・場の構成・安全空間生成

第3回：主訴

- ・心理面接の始め方5：主訴の聴取と記述の技術

- ・心理面接の始め方 6：主訴の明確化と問題の構成

第4回：問題の理解

- ・心理面接の始め方 7：問題の分析。理解を伝える。
- ・心理面接の始め方 8：現実問題への対処を支援する

対象：1)「公認心理師」取得者、2)「臨床心理士」取得者、3) 大学院卒業後、1)、2)の資格受験準備者で、心理関連の仕事をしている者。特に大学院卒業後から資格所得後3年以内の初めて心理職に就いたが、どのように心理面接・カウンセリングを始めたらいいいのか基礎から学びたい方に適切な講座である。仕事を始めて困っている方大歓迎。

日程：全4回 6/13, 9/12, 12/12, 3/13（日曜日開催） 時間：9:30-16:30

料金：66,000円（税込） **定員：**20名

「基礎から徹底して学ぶ専門技法」

科目名：213-1-4【小中学生と関わる心理士・教育者向け】

アクティビティグループセラピー（活動集団療法）の始め方

講師：花井俊紀

目標：学童期（潜伏期）の発達課題は、遊ぶ能力と働く能力を身につけることにある。これは、1) 活動・遊びに積極的に参与し、2) 相棒や仲間と協働して、3) 産物を作る能力であり、活動で心と身体を思い切り使う中で生まれる。この発達課題の弱さは、ゲーム依存・スマホ依存へと繋がり、思春期以降の引きこもりや行動化を生み、ゆくゆくは大人の職場不適応やうつへと繋がってゆく。

アクティビティグループセラピー（活動集団療法）は、学童期児童の発達促進、ならびに学童期発達課題を遷延させている思春期生徒の発達修正に、効果的な技法である。セラピストと5～7名のメンバーと共にクローズドグループを作り、活動を通じてのエネルギー交換を軸に、言葉のやりとりを促進していく。グループ発達を経て、自分たちで自分たちの活動を選び、枠組みを決め、何かを生み出すグループへと変化させていく。このアクティビティグループの設計、運用、必要な介入技術などを学び、グループを始められるようになることが本クラスの目標である。セラピストが遊べるようになろう。

内容：※このプログラムには事前課題があります

第1回：アクティビティグループセラピーの実際

- ・アクティビティグループセラピー体験
- ・アクティビティグループセラピーの目的と方法・グループ設計

第2回：グループ設計と初回グループの実施

- ・各自持ち寄ったグループ設計の検討
- ・初回グループのロールプレイとアセスメント

第3回：グループ設計と初回グループの組み立て②

- ・初回グループのロールプレイとアセスメント
- ・グループ発達

第4回：次への展開へ：活動と言語

- ・活動中心の集団療法から、言語中心の集団精神療法への展開を助ける SMG（ストーリーメイキンググループ）

テキスト：小谷英文著『精神分析的システムズ心理療法』PAS 心理教育研究所出版部

対象：学童期・思春期の児童生徒へのアプローチを学び実践したい専門職の方。臨床心理士・公認心理師・教員・福祉士・作業療法士・保育士・医師・看護師・施設職員など。

特に以下の方におすすめです。1) 子どもへのグループ手法を実施したいスクールカウンセラー・教育相談員・適応指導教室スタッフ、2) 児童思春期病棟で集団療法・活動療法を実施したい医師・コメディカルスタッフ、3) クラス運営で心を育てる活動を実施したい教員、4) 児童養護施設スタッフ、など。

参加形態について：①PAS での対面開催（メイン）＋②オンライン（サブ）

① PAS 心理教育研究所の会場でクラス参加し、演習などにも直接参加して学ぶ。

② PAS で行われるクラスをオンラインで観察して学ぶ。

日程：全4回 6/12, 9/11, 12/11, 3/12（土曜日開催） 時間：9:30-16:30

料金：参加形態①：全4回 44,000円（税込）参加形態②：全4回 33,000円（税込）

定員：参加形態①：10名 参加形態②：30名

最少催行人数：参加形態①の人が4名以上。（①の人が3名以下の場合、開講なし。）

科目名：213-2 PAS 面接法集中講座

講師：小谷英文 単位：2単位

目標：今現在の PAS 面接技法習熟度を自己確認し、さらに技法能力を高める。

内容：

演習と随時の小講義。自己実践事例の特徴的インシデントをケースフォーミュレーションのもとに応答逐語録によって提示し、そこに運用されるべき技法と必要な技術をチェックし、技法及びその技術の運用性をより効果的にする。

対象：PAS 技法を用いた実践を行っているサイコロジスト、サイコセラピスト、臨床心理士、公認心理士、精神看護師、精神科医、ソーシャルワーカー、教師。

日程：全4回 6/27, 10/24, 1/30, 4/17（日曜日開催） 時間：10:00-16:30

料金：各回 22,000円（税込） 定員：15名

科目名：213-3 対人援助職のための応答構成入門*オンライン対応

—共感的理解のための実践演習

講師：吉田 愛・能 幸夫 単位：0.25単位

目標：面接場面でどのようにクライアントに反応し、応えているのか、自分の特徴をつかむこと。また、共感的理解の本質を体験的に理解すること。

内容：

応答構成とは、架空の事例のある心理療法面接場面（抜粋）を読み、自分であればどのように応えるか、実際に応答を作ってみるグループワークショップである。クライアントの具体的な発言に対して、ワークシートを使いながら、自分とクライアントの「考えと認知」、「気持ちや感情」、「行動」を識別し、自分らしくクライアントに応答できるようになることを目指す。（このプログラムには事前課題があります）

基礎科目「対人援助職のための応答構成法」に部分参加し、応答構成法を試し、そこから共感

的理解の本質を体験的に学ぶ。自分の捉えたクライアントの体験についての理解を伝えることが、共感的理解の基礎となる。応答構成法を使いながら、自分の体験とクライアントの体験を識別し、理解を伝えることを、架空の事例を使いながら演習形式で行う。

対象：対人援助に従事している方および対人援助職を目指す大学院生。現在心理療法を行っていない方でも、関心のある方は参加可能（事前にご相談ください）。

また、本プログラムは心理療法の面接場面を使って行うが、ソーシャルワーカーや精神保健福祉士、教師など、対人援助職に従事されている方で「共感的理解について理解したい」「自分らしい応答を身に付けたい」方も受講可能。

日程：全6回 5/9, 7/4, 9/5, 11/7, 1/16, 2/6（日曜日開催） 時間：9:30-17:15

1回のみ参加（最終回のみ参加は不可）、複数回の参加も可。

料金：各回 16,500 円（税込） **定員：**5 名内外

科目名：213-4 インテーク面接入門

講師：能幸夫・花井俊紀 単位：0.25 単位

目標：インテーク面接の組み立ての基本として、First Contact から初期目標構成に基づいた最初の仮契約の成立までの基本力動と介入技法の基礎を学ぶ。

内容：

講義とロールプレイ演習を通じて、

- 1) インテーク面接の理論と技法について習熟する。
- 2) 臨床的態度の本質をつかむ

テキスト：『ガイダンスとカウンセリング』『精神分析的システムズ心理療法—人は変われる』
『PAS セルフケアセラピー』

対象：現任の臨床家（臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、ソーシャルワーカー、作業療法士など）および関心のある大学院生（臨床心理など）。初心からベテランまで。特に、現場に出たばかりの初心の専門家を歓迎する。

日程：年1回 2021/7/25（日曜日開催） 時間：9:30-16:30

料金：16,500 円（税込） **定員：**8 名内外

科目名：213-5 力動的面接法基礎

講師：中村有希 単位：1 単位

目標：「主訴」はクライアントの動機づけや作業同盟の軸となるのでその後の面接展開にも重要な要素であるが、クライアントは、何らかの問題を主訴として持ち込んでくるも、その中身を十分に認識してはいない。この主訴をクライアントが受容できるようになるための面接法を学ぶ。年2回でカウンセリングができるようになり、心理療法を学ぶ準備ができるワークショップである。

内容：

第1回は、クライアントが何に困っているかがわかるための面接法、第2回は、主訴を軸にして2人でどう取り組んでいくのかを構成するための面接法を学ぶ。2回とも、徹底した実践演習を行う。

第1回：主訴の記述と主訴の理解：面接技術「反射」と「明確化」

第2回：作業同盟形成のための面接法

対象：公認心理師、臨床心理士、カウンセラー、医師、CNS、教師などの対人援助職。それらの専門を専攻する大学院生。力動的なアセスメントや面接法の基本が確かでないため、体系的に学びたい方。

日程：全2回 5/8, 11/13（土曜日開催） 時間：10:30-17:30

料金：各回 13,200 円（税込） **定員：**15 名

**科目名：213-6 ロジャースの6条件を成立させるための臨床的態度と
面接技術ワークショップ**

講師：花井俊紀

目標：1957年に公表されたカール・ロジャースの論文『治療的人格変化の必要十分条件』（The Necessary and Sufficient Conditions of Therapeutic Personality Change）で挙げられた6つの条件を成立させるために、必要な臨床的態度と技術を体験的に理解し、向上させることが本ワークショップの目標である。

内容：ロールプレイ演習

我が国ではこの6条件から、「純粋性または一致」「無条件の肯定的関心」「共感的理解」の3つが取り出され、カウンセラーの基本的態度の中核として紹介されることが多い。しかし、例えばロジャースが論文の中で第1の心理的接触なくして他の条件は意味を持たないと述べているように、断片的に部分を取り出してもその意味は薄れる。6条件を成立させるための臨床的態度と技術として以下を練習する。

- ・セラピストのプレゼンス（存在感）を示す。
- ・心理的接触（サイコロジカルコンタクト）をする。
- ・セラピストが一致（congruence）している。
- ・クライアントが不一致であることにある意味。
- ・無条件の積極的関心（unconditional positive regard）の「無条件」「積極」とは
- ・クライアントの内的照合枠（internal frame of reference）を共感的に理解する。
- ・クライアントに伝える。

対象：臨床心理士・公認心理師・看護師・ソーシャルワーカー・教師などの有資格者、および受験資格取得者。カウンセリング、心理療法、ソーシャルワーク、看護面接などを仕事で実践している方。自分の面接を豊かにしたい方、臨床的態度を磨きたい方、おどおどせずあっさりさっぱり元気に面接の場に臨みたい方、経験年数を問わずどなたでも歓迎します。特に、①資格取得後5年以内の初心者、②知識や技術が増えてきたが、面接が同じところで展開しなくなる中堅者、におすすめです。

日程：2021/10/3（日曜日開催） 時間：10:00-17:00（休憩1時間）

料金：11,000 円（税込） **定員：**20 名（最少催行人数：2 名）

看護プロフェッショナルプログラム

科目名：214-1 最新セルフケアプログラム*オンライン対応

～患者・家族・同僚のメンタルヘルスと看護介入技法～

講師：宇佐美 しおり

目標：COVID-19 禍のもと、組織内、個人間でのリスク・コミュニケーションとセルフケアが非常に重要になってきている。感染拡大防止のために患者・家族・看護スタッフは危機状況にあり効果的な看護介入が必要になってきている。精神力動理論を用いているオレム・アンダーウッドのセルフケアモデルは看護職の専門技法として患者の回復を早期に促進する技法として発展し、ストレングスモデルやケースマネジメントモデルの中核を果たしている。さらに精神力動理論においても介入技法を有する PAS 理論(精神分析的システムズ理論, Psychoanalytic Systems Theory) を用いての最新セルフケアプログラムは、患者の回復、地域生活促進、身体・精神状態悪化予防の領域において効果を示している。

ここでは最新セルフケアプログラムの概要、医療現場や地域ケアにおいて、どうセルフケアプログラムを用いるのか、セルフケアプログラムをより効果的に展開するための組織・集団・地域調整と介入について学習する。

内容・日程： 講義および事例検討 **時間：** 10：00～12：00

回数	日時	内容
1	5/1	オレム・アンダーウッドの最新セルフケアプログラム
2	7/3	最新セルフケアプログラム展開のための治療的援助関係とパートナーシップ、セルフケア看護面接
3	8/7	導入① 危機介入・リエゾンコンサルテーション
4	11/13	導入② リスク・コミュニケーション
5	12/25	導入③ チーム・ビルディング
6	1/29	導入④ 在宅療養移行支援セルフケアプログラム (Transitional Self-Care Program, TSCP)
7	2/19	最新セルフケアプログラムにおける総合アセスメント
8	3/26	ケース・フォーミュレーションと看護過程の展開

*対面とオンライン双方で実施しますが感染状況によってはオンラインのみになる場合もあります。

対象：看護師経験3年以上、専門看護師(CNS)・高度実践看護師(APN)、Nurse Practitioner、看護管理者、看護系大学院生も可。患者・家族からの相談、同僚・部下の育成、スタッフへの関わり方と人材育成に関心のある方におすすめです。

料金： 70,400 円 (税込) **定員：** 10 名

科目名：214-2 ケア困難患者への看護介入技法*オンライン対応

～ハイリスク慢性疾患患者への最新セルフケアプログラムから PAS セルフケアセラピー～

講師：宇佐美しおり

目標：在院日数が減り、地域生活が促進される中、患者の回復を促し慢性化を防ぐため、病院・外来・訪問看護において、身体・精神・発達状態、セルフケアを早期にアセスメントし、適切

に介入できる看護介入技法が求められている。また心不全や悪性腫瘍・脳血管疾患や糖尿病などの五大疾患の重症化、行動化や自傷行為、自殺企図、身体疾患でうつ・不安を有する患者、認知症やせん妄を有する患者の再入院や再燃(ハイリスク慢性疾患患者と呼ぶ)は看護職のケアを困難にさせている。そこで今回、ハイリスク慢性疾患患者への最新セルフケアプログラムおよび PAS セルフケアセラピィ (PAS-SCT) について事例をもとに、どのような総合アセスメントと看護介入が効果的かを検討する。今回、ハイリスク慢性疾患患者およびケア困難患者に対する効率的・効果的看護介入技法を修得することを目標とする。

内容・日程：講義および事例検討 時間：13:00-15:00

回数	日 時	内容
1	5/1	・ハイリスク慢性疾患患者と最新セルフケアプログラム ・最新セルフケアプログラムを展開する上での治療的援助関係の展開 (グラウンドメイトリックス・相互作用メンタルメイトリックスと心的安全空間)
2	7/3	最新セルフケアプログラム促進の起点となるセルフケア看護面接, 最新セルフケアプログラムから PAS セルフケアセラピィ (PAS-SCT)
3	8/7	せん妄患者への看護介入と最新セルフケアプログラム～PAS-SCT
4	11/13	悪性腫瘍患者でうつ・不安を有する患者への最新セルフケアプログラム～PAS-SCT
5	12/25	心不全患者でうつ・不安を有する患者への最新セルフケアプログラム～PAS-SCT
6	1/29	自己免疫性疾患患者でうつ・不安を有する患者への最新セルフケアプログラム～PAS-SCT
7	2/19	急激な身体疾患の発症による PTSD 患者への最新セルフケアプログラム～PAS-SCT
8	3/26	災害後のうつ/PTSD 予防介入プログラム

※対面とオンライン双方で開催予定ですが感染状況によってオンラインのみになる場合があります。

対象：看護師経験3年以上、専門看護師(CNS)・高度実践看護師(APN)、Nurse Practitioner、看護管理者、看護系大学院生も可。自分の受け持ち患者と家族、部下・同僚・スタッフへの関わり方、患者の地域生活促進や慢性化防止に関心をもっている方におすすめです。

料金：70,400 円 (税込) 定員：10 名

科目名：214-3 PAS-SCT 道場*オンラインのみ

講師：小谷英文

目標：精神分析的システムズ理論による PAS-SCT の技法及び事例研究のシェイプアップ

内容：

実践ケース展開における行き詰まりを分析し、その展開技法を実践的に見出すために、ケース・フォーミュレーションに基づく行き詰まりインシデントの分析と技法展開の練習を行う。武道における道場のように、自分自身の理論運用と実践技法の錬磨を行う。

対象：精神看護師、C N S。実践歴は問わない。ノーヴィスからマスターセラピストまで（初心者からヴェテラン）。

日程：第3月曜 19:00-21:00 全10回

5/17, 6/21, 7/19, 10/18, 11/15, 11/29, 12/20, 1/17, 2/21, 4/18

料金：88,000円（税込）※PAS-SCT 専門技法講座ご受講の方は3割引き **定員：**15名

科目名：214-4 集中PAS-SCT 専門技法講座

講師：小谷英文 **単位：**4単位

目標：P 経年および新規訓練生の合同トレーニングによって、AS-SCT 面接技法の修練、精錬を重ね、考えなくとも有効な技法展開を進めることのできるプロを目指す。学会発表レベルの自験例による事例報告/事例発表をまとめることを目標とする。

内容：講義と実践演習；個別トレーニングの効果を狙いオンラインで行う。

第1回；構成の仕事：初回介入技法とケース・フォーミュレーション

1)危機介入技法 2)不安面接法 3)DER 技法

第2回；分析の仕事：展開介入技法とケース・フォーミュレーション

1)相互作用メンタル・メトリックス 2)一拍子打ち 3)介入分析法

第3回；再構成の仕事：治療同盟とケース・フォーミュレーション

1)メンタライジング 2)セラグノーシス 3)変化の変数関係

第4回；事例報告と事例研究：ケース・フォーミュレーションの妥当性

1)治療構造介入 2) グループ介入 3) ネットワーク介入

対象：経年訓練生：第3期訓練生

日程：年4回 6/12-13, 9/25-26, 12/11-12, 3/12-13（土日開催）

料金：220,000円（税込） **定員：**20名

3. スーパーヴィジョン

心理臨床に関わる理論は高度に抽象化されており、理論と技法とのつながりを実践的につかむことは容易ではありません。理論・技法を学んでも、それらの理論が現実場面でどのように現れるのか、学んだ技法を実践の中でどう現実化していくのかを知らなければ、学んだ理論・技法を使うことはできません。当センターのスーパーヴィジョンでは、理論・技法を実践に落とししていく作法と技術、態度を、専門家として厳しく追求していくための機会を提供します。

当研究所では、以下に関わるスーパーヴィジョンを受け付けております。

- ・ カウンセリング
- ・ 心理療法
- ・ 集団精神療法
- ・ プレイセラピー
- ・ アセスメント
- ・ 学級経営
- ・ 災害支援
- ・ ワークショップ
- ・ コンサルテーション

○対象：臨床心理士、公認心理師、教師、看護師、医師、ソーシャルワーカー、精神保健福祉士など

○料金：45分 11,000円～（個人・税込） 30分 5,500円～（個人・税込）

* 頻度はご相談ください。

スーパーヴィジョンには、個人で受ける個人スーパーヴィジョンと、専門家が集まって共に受ける集団スーパーヴィジョンがあります。当センターでは集団スーパーヴィジョンも受け付けております。スーパーヴィジョンをご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

4. 教育分析

1978年、私は著名なH. Greenbaum先生に教育分析（training analysis）を受けたいとお願いしました。先生の応えは、「教育分析とは何ですか？ 私はアナリストやセラピストの分析・心理療法はやっていますが、それでは不都合なのですか？」でした。ニューヨーク大学ベルビュー病院での、いきなりの分析体験でした。

当研究所の個人心理療法・集団精神療法による教育分析は、心理療法家・カウンセラーの成熟性を目指す心理療法です。

PAS 心理教育研究所 理事長 小谷 英文

当センターの教育分析には、個人で受ける個人教育分析と、専門家が集まって共に受ける集団精神療法やアイデンティティ・グループがあります。

（1）イントロダクトリー教育分析

教育分析を体験してみたい方向けの5回パックプログラムです。個人とグループの形式があります。

【個人】料金・時間：初回面接+教育分析5回のパック

週1回45分 7,700円～（担当セラピストによる）

【集団】料金・時間：初回面接:1回 45分 7,700円～（担当セラピストによる）

教育分析（全5回）：週1回90分 4,400円

（2）個人教育分析・集団教育分析

○個人教育分析

受講資格・対象：臨床心理士有資格者、対人援助専門職の方

料金：11,000円より（担当セラピストによる）／1回45分～

○男性のためのアイデンティティ・グループ

セラピスト：小谷英文 日程：第1・2・3木曜 16:40-17:55 料金：11,000円/月

○女性のためのアイデンティティ・グループ

セラピスト：小谷英文 日程：第1・2・3木曜 18:00-19:15 料金：11,000円/月

○教育分析（グループ）

セラピスト：小谷英文 日程：第1・3木曜 19:30-21:00 料金：22,000円/月

対象：臨床経験10年以上の男女

○心理職・対人援助職のためのグループ

セラピスト：髭香代子 日程：第2月曜 19:00-21:00

料金：通年 55,000円（税込） 各回参加 5,500円（税込）

※詳細は単発プログラム「212-4 心理職・対人援助職のためのグループ」をご参照ください。

